

## 第 9 回専門部会（H21.7.30）における委員・専門委員からの意見等

委員・専門委員からの意見等	
永瀬 部 会 長	1. 切土・盛土の工事の際に濁水が出てくると思うが、評価項目の中に水質等の水環境が入っていないのはどうか。
秋 山 委 員	1. 評価項目の中には交通量の影響を多く受ける項目もあるので、計画交通量に多少幅を持たして、感度分析的なことをしてはどうか。
安藤専門委員	1. 準備書の段階での意見ですが、生物の多様性の確保についてはとても重要だということを認識しておいて欲しい。
江崎専門委員	1. 東濃地域特有の里山について、道路が出来ることによって里山の環境が今までと変わり、地元の人が管理できなくなってしまう。どのように配慮されるのか。
遠藤専門委員	1. 動物や植物の調査手法の記載について、実際に行う手法など具体的に記載してはどうか。
岡田専門委員	1. 騒音の予測について、瑞恵道路のみの予測ではなく中央道等の影響もあわせ複合的な予測を検討いただきたい。 2. また、予測モデルの中の速度について、法定速度の 60km ではなくプラス 10km とした予測についても検討いただきたい。 3. 現道の国道 19 号は、騒音の測定値が環境基準をクリア出来ていない所もあるが、排水性舗装などの対策はされているのか。
神谷専門委員	1. 方法書案の 4-2-13 ページの表 4.2.9 と表 4.2.10 を見比べると表 4.2.9 の恵那市の総用水量の数値がおかしいと思うがっているのか。
新田専門委員	1. 計画交通量について、現況の交通量より今後、交通量が伸びていくか疑問。どのように推計しているのか。 2. 廃棄物について、評価の手法の記載が分かりづらいので記載方法を検討いただきたい。 3. 粉じん等、二酸化窒素、浮遊粒子状物質の予測点が「地上 1.5 m」となっているが、1.0 ~ 1.2 mあたりの低い位置での測定が必要ではないか。

新田専門委員の意見 3 については、H21.8.4 に事務局宛にいただいたもの